

### サッカーを通じて感じる変化の大きさ

11月9日、リヤドでサッカーアジアチャンピオンズリーグ決勝・浦和レッズ対アルヒラルの試合が開催された。日本からも数百名のサポーターが、9月に発給が開始された観光ビザにてリヤドに訪れており、リヤド市内で在住者ではない日本の方の姿を見かけることができたのは印象的であった。2017年も同大会の決勝戦は今年と同じ2チームであったが、その際はビザ取得手続きが困難なことから、日本発の観戦ツアーによる渡航しかできなかつたことを考えると、サッカー観戦に加え、自由に観光ができること自体、大きな変化と言える。

#### サウジアラビアのスポーツ事情

サウジアラビアではサッカーが一番人気のあるスポーツである。YouGovの調査によれば、国民の34%が関心を寄せ、2位の水泳(17%)、3位の競馬(12%)を大きく引き離している。サッカーの国内リーグは1976年から開催されており、浦和レッズと対戦したアルヒラル(本拠地リヤド)は、国内リーグ最多の優勝回数を誇る。

### 急速に改革が進むスポーツ分野

2018年1月に女性のスタジアムでのサッカー観戦が解禁されたことが記憶に新しいが、来月12月にリヤドで開催される試合においては、解禁以降設置されていたファミリー席(女性のみ及び女性を含む家族)とシングル席(男性のみ)というセクションの設置も取り払われることが報道されている。ファミリー席の座席数は限定的であることを踏まえると、スタジアムでの観戦を望む女性にとっては喜ばしい進展であると同時に、改革の進捗の早さを物語る動きとなる。

### 2つの点から重要となるスポーツ分野の発展と拡大

1つはサウジ国民の健康促進である。Vision 2030にも「週に1回以上運動する人の割合を13%から40%に引き上げる」という目標が掲げられており、政府主導によるマラソン大会の開催や、女性専用のフィットネスクラブの普及促進等、目標達成に向けた動きが進められている。健康促進は長期的に見れば、平均寿命の伸長や医療費支出の削減にも寄与することとなり、スポーツ分野の発展と拡大を通じて、幅広い分野におけるVision 2030への貢献が期待される。

もう1つは娯楽としてのスポーツである。上述した女性のスタジアムでの観戦解禁等、規制面での改革と同時に、サウジは国際的なスポーツ大会の誘致にも力を入れている。2018年にサウジ初開催となった電気自動車のF1と呼ばれるFormula E、19年のゴルフの世界ツアーの他、欧州クラブチームのサッカーの大会が、今後継続的に開催される予定となっている。魅力的なスポーツ大会の開催は、サウジ国民の娯楽の拡充に加え、観光客の増加にも繋がる可能性を秘める。スポーツがサウジの改革に貢献する余地は大きく、今後も動向が注目される。(2019年11月)

### お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: 5th Floor, Council of Saudi Chamber Builg, Riyadh 11614

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: [infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp](mailto:infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp)

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>